

地域福祉の増進に努めるものとして...

## “市長と語ろう!” 「学んでご飯」を語る



8月23日、山中竹春市長が、各区を巡り市民と直接対話を行う事業“市長と語ろう!”の一環で馬場地域ケアプラザを訪れ、多世代交流会「学んでご飯」についての意見交換を行いました。スライドを使っての事業の説明の後、山中市長の進行で、この事業の担い手である自治会長、民生委員・児童委員、ヘルスマイト、東高校生、見守り隊などとの対話が進みました。最後に山中市長が、「皆さんの子どもたちを思う気持ちがあります。孤立してしまう子、取り残される子が出ないように活動を続けてください。行政としてもバックアップをしていきたい。」と、締めくくられました。



## 生き活きお食事会

おまたせしました!

コロナ下で、令和元年3月から2年半にわたって実施できていなかった「生き活きお食事会」を、今年9月から再開いたしました。感染拡大予防に配慮して、人数を3分の2程度にし、時間も短縮して実施いたしました。また、会食はせず、お弁当をお持ち帰りいただきました。9月はBグループ、10月はCグループ、11月はAグループの方をお招きし、それぞれ工夫を凝らして参加の皆様にお楽しみいただきました。当日は、久々の会に話が弾み、時間があっという間に過ぎました。皆さまの笑顔がマスクの中から溢れ出ていました。今後も一人でも多くの方に参加して頂けるよう取り組みを続けます。



### 参加された皆さんの声

- ・お食事会をととても楽しみにして来ました
- ・演奏もすてきで、本当に楽しい時間を過ごせました
- ・音色が素敵で癒されました
- ・ベルの体験を初めてしました
- ・飲み物も選べるんですね
- ・皆さんのお心遣いに感謝です
- ・お弁当も楽しみです

# 老いも若きも健康づくり

令和4年10月29日(土) 寺尾地区センター体育室において、福祉保健講座第二講「老いも若きも健康づくり」が開催されました。当日はお天気にも恵まれ、一般の来場者が60名を越え、出演者、来賓、スタッフを含めると総勢142名の参加で、久しぶりの盛会となりました。

令和4年10月29日(土) 寺尾地区センター体育室において、4年ぶりとなる福祉保健講座第二講「老いも若きも健康づくり」が開催されました。台風・新型コロナウイルス感染症拡大・大雨などの理由で3年間実施することのできなかった講座です。当日はお天気にも恵まれ、一般の来場者が60名を越え、出演者、来賓、スタッフを含めると総勢142名の参加で、久しぶりの盛会となりました。

第1部は、「長引くコロナ禍で懸念されること」というテーマで、鶴見福祉保健センターの市川センター長の講話がありました。

第2部は、フラ レイマカマエの皆さんのフラダンスを拝見しました。皆さんのにこやかな表情に、会場の雰囲気が一気に華やぎ、ハワイの青空のもとに誘われました。その後、加山真由美先生の指導のもと参加者全員でフラダンスを踊り、楽しいひと時を過ごしました。



市川 裕章  
センター長



ケイキクラスのかわいいダンス



## 参加された皆さんの声

- ・コロナフレイルを防ぐ3か条は、資料も分かりやすくとても参考になりました
- ・改めて感染予防に心がけようと思いました
- ・フラダンスを踊るのは初めてで難しかったけど、体を動かすと自然に笑顔になって楽しかったです
- ・フラダンスは華やかでみんなすばらしかったです
- ・特にお子さんのダンスがかわいかった

## みんなで学ぶ認知症サポーター養成講座～応用編～



11月29日(火)、馬場地域ケアプラザにて認知症サポーター養成講座応用編が行われました。認知症キャラバンメイト7名の講師の方を迎え、自治会・町内会長、民生委員・児童委員、一般の参加者22名が参加しました。4つのグループに分かれて二つの事例について、認知症サポーターとしてできることを話し合いました。